

## 理事長 相澤孝夫氏がカッコよすぎる! 小平を支えた地元名士の心意気!



LIFE is THE GIFT (<https://lifeisthegift.work/aizawa-kodaira/>)

2009年,当時まだアスリートとしては無名だった小平奈緒選手。長野での活動にこだわり大学卒業後の所属先を探していましたが,不況のおり,地元企業には選手を雇う余裕はなく所属先がなかなか決まらなかったのですが,その様子を知り手を差し伸べたのが相澤病院の理事長相澤孝夫氏でした。

相澤理事長は「長野の人が長野で五輪を目指したいと言っているのに, どうして長野の企業はできないの。みんなができないなら僕がやるよ」とまさに救世的に名乗りを上げました。しかも所属にあたり当時無名選手だったにも関わらず,

- ・活躍は期待していない
- ・広告塔にはしない
- ・病院勤務は必要ない



第 195 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

- ・とにかく競技に専念できるように

という一流アスリート並みの条件での支援を申し出たのです。その後,所属先が決まり,選手生活を続けるうえで安定した小平選手はバンクバー,ソチと世界を引っ張る一流アスリートに成長。メダル獲得後にはメダルを持って病棟を訪れ患者さんたちと交流を持ち,患者さんに笑顔と元気が広がりました。

病院で日夜働く人達にとっても普段は顔を合わすことのない同僚はこの上ない誇りとなっている事でしょう。実際に働かずして年間1000万円ものお金を病院が小平選手に支援しているという事に対して不満の声がないというのが何よりの証拠だと思います。そしてソチ後はスケートの本場オランダに留学していましたが,その留学も「出張」として相澤病院が全面バックアップ。専属の栄養士も帯同させました。

相澤理事長は語ります。「金銭面で院内から不満が出た時には私の給料を半分にすればいい」言えますか?こんなこと言えますか?

もちろん大病院の理事長ですから,庶民とは訳が違うでしょうが,政治家を始めとして,仕事も財産もたんまりあるのにさらに私利私欲を満たそうとする人が五万といる中で,純粋に「地元の選手に頑張ってもらいたい」という思いから,病院経営の中でも最も経費が掛かる人件費を実質利益を生み出さない人にかけるこの心意気!カッコいいですねー!美談ですねー!相澤理事長は先代が,「利益が出るようになったら世の中に還元しなさい」と言っていた言葉を受け継ぎ実行したのだと言います。

### 小平奈緒選手の名言

■「学びを積み上げてきた人が強い」

(2月16日発行・第181号で紹介済み)

■「私にとって勇氣とは覚悟することです」

ピョンチャンオリンピックで金メダルを取った小平奈緒選手。メダルだけではなく,多くの名言を残していますが,これもとびきりの名言です。

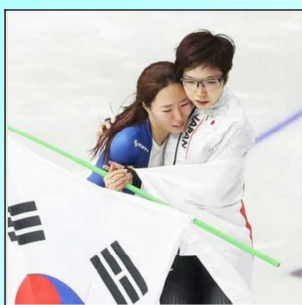
■「心の断捨離」

断捨離は「自分に必要なモノを取捨選択し,その結果,執着から離れて自在な心になる」その取り組みのことを言います。物を捨てながら,こだわりや執着を捨てながら,なにかあっても動じない自分に近づく「心の断捨離」を小平選手は,一歩一歩進めています。

■「与えられるものは有限,求めるものは無限」

■小平奈緒選手の神対応

金メダルが決まると,小平選手は真っ先に泣きじゃくる李選手のもとに寄り添い,「今でも私はあなたを尊敬しているよ」。耳元にその声をかけたといいます。2人はしばらく言葉を交わしながら一緒にウィニングランをしました。



今回は,小平奈緒選手の特集になってしまいましたが,小平選手の名言と神対応,相澤理事長のカッコいい美談は,大きな反響を呼び,人々に感動と勇氣を与えてくれました。